

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会  
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階  
TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@j-jafra.jp  
URL：<http://j-jafra.jp/>

巻頭レポート

## 立体的に進化する博多駅広告媒体と九州の魅力について

### リニューアル後の博多駅と九州新幹線全線開業

2011年はJR九州及び弊社にとって、大きな年となりました。3月3日には、それまで改修事中だった博多駅の駅ビル部分「JR博多シティ」が開業しました。地下3階、地上11階（11階は屋上）建てで、当時、九州初出店となった「博多阪急」や、「東急ハンズ」をはじめ200を超える専門店ゾーンの「アミュプラザ博多」、シネマコンプレックス「Tジョイ博多」、日本最大級のレストランゾーン「シテイダイニングくうてん」、そして屋上庭園やイベントホール、会議室などの文化施設を備えた九州の新しいランドマークとして開業しました。

また、3月11日に発生した東日本大震災には、九州新幹線全線開業前日の準備中の中、大きな被害の報道に衝撃を受けました。被災された方にお見舞い申し上げるとともに、亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。大がかりなイベントを中止

し粛々と全線開業の日を迎えましたが、博多から鹿児島中央までが最速1時間19分で結ばれ、多くの皆さんの期待感の中の開業となりました。その期待の大きさは、TVCやYoutubeでご覧になった方もいらっしゃると思いますが、「祝九州CM」による沿線の皆さんの反応からも見てとれます。

リニューアルした博多駅では世界的に著名な日本画家の千住博氏とJR九州の数々の列車や駅のデザイン等を手がけられた水戸岡鋭二氏をアートディレクターに迎え、約5万枚の有田焼の陶板を使用し、一般の方から募集した「葉」、「花」、「鳥」、「魚」、等の陶板画を用い駅の中に都会の森をイメージしたデザインとなり、これまでの博多駅とは大きく異なる洗練された空間となる中で、有料広告のあり方については十分に検討を行いました。

リニューアル前は、電照看板やパネル看板など看板の種別が混在し、器体のサイズも様々で統一感がありませんでしたが、リニューアルにあ

JR九州エージェンシー株式会社  
代表取締役社長  
水野 正幸

たっては、業務用掲示と有料広告との棲み分けを行いました。また、器体のサイズを統一化し、柱の連続性を利用した九州で一番大きな駅としての広告価値を持った媒体を開発しました。

リニューアル後は年間契約媒体のほかに、1週間単位のSP媒体を設置し、ナショナルクライアントでの集中的なジャック広告が行えるよう商品開発を行いました。

### 博多駅の主力商品「博多駅ジャック」

リニューアル後の博多駅の主力商品としては「博多駅ジャック」がありますが、これは博多口側の吹抜けゾーンを活用した大型バナーによるインパクトのある掲出や展示スペースでのイベント、及びLED電照50面のジャック広告を開発し、これまで博多駅にはなかった1週間500万円の価格体系による出稿を目指しました。

また、本年1月には、博多駅ジャック



博多駅吹抜けゾーンジャック及び展示スペース

クの構成商品でもあったメインコンコースジャックのLED電照50面を60インチのデジタルサイネージに改良を行いました。

デジタルサイネージとなった初回の出稿には、前年の九州豪雨からの復興途中にあった熊本県様の阿蘇復興支援PRを実施し、熊本県の営業部長でもある「くまモン」も登場し多くのお客様で賑わい新しいデジタルサイネージを印象付けました。

さらに、7月1日からは、デジタル50面のメインコンコースジャックに筑紫口側の2面を追加し52面での掲出が可能となり、更に博多駅ジャック



博多駅メインコンコースジャック デジタルサイネージ化 (50面・博多口側から) 平成25年1月

クとしての広告価値は上がっています。

この弊社の主力商品である博多駅ジャックについては、デジタルサイネージによる展開のほかにも、吹抜けゾーンでは博多駅ジャックのオプションとして展示スペースを多く利用していただいております。特に昨年度からは車の展示とジャック広告を合わせた展開が多く見られます。他にも、メインコンコースのデジタル52面でのインパクトや印象を持ったお客様に対して、展示スペースでのサンプルングを行うという流れができています。



博多駅メインコンコースジャック デジタルサイネージ (52面・筑紫口側から) 平成25年7月

最近では、博多駅での広告を見たお客様がツイッターやfacebookなどに投稿し、イベントの情報を拡散することで博多駅の集客力も高まっています。映画告知で訪れたアイドルに対して、駅前広場が約7000人のファンであふれかえったり、博多駅のイルミネーションイベントではfacebookを使用したフォトコンテストが開催されたりと、既存の広告やイベントとSNSが結びついた流れができています。

まさしく、博多駅が立体的な広告媒体として進化しつつあるのです。

## 九州各県の魅力を発信するクルーズトレイン

2012年3月に高架駅としてリニューアルした大分駅では、デザイン監修に水戸岡鋭二氏を迎え地元大分県の素材をふんだんに活かした駅となりました。

博多駅で培ったデジタルサイネージの経験を活かし、大分駅での広告媒体には60インチディスプレイ(横型)を上下に配置し2面マルチ画面での掲出を行いました。開業時には、一般の方から顔写真を募集しデジタルサイネージ上で、駅長の服装を合成し駅長の気分が味わえる千人駅長という展開を実施し、多くのお客様に好評を頂き大分駅でのデジタルサイネージを印象付けました。

大分駅では、2015年春に駅ビル開業を予定しており、多彩な専門店やレストラン街、シネマコンプレックスが導入されるほか、大分の新たなランドマークとなるべくタワーも設置されます。

タワー部の地上8〜18階はホテルとして、地上19〜21階と屋上階は温泉施設として、さらには、最上階には大分市内が一望できる開放感あふれる露天風呂が設置され、更なる魅力が発信されます。

また、平成25年10月15日に運行開始予定のクルーズトレイン「ななつ星in九州」には二つのコースが設

広場

# 「ぼくの修業時代（仙台と岡山）」

会長代行副会長 小暮 和之 (ジェイアール東日本企画)

けられ、3泊4日のコースでは4日間かけて福岡・大分・宮崎・鹿児島・熊本の5県を周遊し、ゆふいんなどの人気エリアの散策や、海と空が広がる南国風景、世界的にも珍しい阿

蘇の大自然など、九州の魅力満載した内容となっています。また、1泊2日のコースでは、九州の北西部を周遊し、福岡・佐賀・長崎・熊本・大分の5県を巡ります。異国情緒あ

る長崎では大陸に開かれた港町の雰囲気と歴史を感じていただけます。さらに、2日目には、阿蘇の大自然やゆふいんのまち並みをご堪能いただけます。どちらも九州の魅力を再確認

できるクルーズトレインとなっています。九州にお越しの際は、ぜひ魅力あふれる駅と列車をご堪能ください。

大学卒業後国鉄に就職し、JRとあわせて32年間勤めた。国鉄と言えば、北は北海道旭川から南は九州鹿児島まで全国29鉄道管理局間の転勤が多いので有名だった。僕は同期の中では例外的に転勤が少なく、地方勤務は国鉄時代の仙台と岡山だけだったが、両地方はその分だけぼくの思い出に鮮やかに残っている。

仙台時代は入社直後からの2年間だった。晩春の5月の夜、仙台に到着した。直前特急ひばりの車内に「あと3分ほどで仙台駅に到着します」という車掌のアナウンスが流れた。おお、そうか、と車窓を眺めると・・・仙台と言えば当時すでに人口70万人を超える東北の大都会であった。

であるのに、いくら窓外に目を凝らしてもあたりの景色は暗く、あの都会を彩るきらびやかなネオンがほとんど（全く）見られないのである。おまけに、駅に着き街に出てみると行き交う若い女性の顔は誰もみなほっぺたが赤い。

やれやれ、これはとんでもない所に（仙台の方、失礼！）来てしまったぞ！僕は

若気の至りで、瞬間暗い2年間を覚悟した。しかし、これは勿論勘違いだったのである。

独特のぬくもりのある人情と山海の珍味に恵まれて、忘れ難い見習い時代を過ごすことができた。前半の1年は、「ガクシさん」と呼ばれ、駅や車掌区、運転所、保線、ヤードなどのありとあらゆる現場業務を経験した。郡山操車場（グンソウと呼ばれていた）のハンブで真夜中、国労の「アパッチ」とマルクスの資本論をめぐって激論を交わしたことや、真夏の昼の、太陽がキラつく利府駅の側線で、菜っ葉服の紺の背中を汗とともに噴き出した塩で白く染めながら枕木交換をしたことが懐かしい。

後半は仙石線松島海岸駅の当直助役を務めた。風光明媚な景勝の地、松島の表玄関である松島海岸駅は職員数10人余りの小さな駅。当直助役は一昼夜交代、24時間勤務である。朝8時30分に出勤して翌朝8時30分まで、昼、夜、昼と3食分の弁当を持って出勤する（当時コンビニは

勿論、駅の近くには食堂もなかった）。冬の日の朝4時半、いつものようにホーム端の運転（信号扱い）室で目を覚ますとカーテン越しに透ける外の気配が妙に明るい。雪であった。夜通し降った雪がホーム上にたつぷりと積もっているのだ。初電まえに急いでポイントとホーム上の雪かきをする、そんなことが何度もあった。

2度目の地方勤務は国鉄末期の岡山だった。人事課長として、労働組合相手の合理化交渉の日々だった。組合との妥協の許されない時代であり、いつもギリギリのところまで折り合った（折り合えないこともあった）。（目に見えない）多くの血が流れた。そういう中でも、少しでも時間があれば、後楽園、西川緑道沿い、京山、鳥城など多くの場所を訪ね歩いた。荒んだ日々の中で、温かい人情が身に沁みる日々だった。

こうして、ぼくの20代は過ぎて行った。\*貨車を行き先別に仕分けするために、貨物操作場に設けられた丘状の設備。

今回の広場もお楽しみに。

# 平成25年度定期総会を開催

6月28日(金) 14時30分、ホテルメトロポリタンエドモントにおいて、多数の会員が出席し、平成25年度定期総会を開催し、平成24年度事業報告及び決算、協会役員を選任案などを審議した。

審議内容は以下のとおり。

## 第1号議案・第2号議案

平成24年度事業報告及び平成24年度決算については、河田専務理事の説明と稲川一監事代表の監査報告の後、挙手による採決の結果、委任状によるものを含め、定款第27条に基づく過半数の賛成により、本案通り議決された。

## 第3号議案

理事の選任について

当協会の「理事の任期」は定款第16条の規定により就任後2年目の定期総会終結の時まで(但し補選された理事任期は前任者の残任期間)となっており、平成24年6月29日の定期総会終了後、7名の理事より人事異動等の事由により退任の希望があり、新たに理事7名を選任したい

と会場に諮り、挙手による採決の結果、過半数の賛成があり提案通り議決された。被選任者はその就任を承諾した。

また、当協会の常勤役員河田健治(専務理事)の退任にともなう、退職慰労金贈呈の件については、退職手当支給規程第1条2の規程により贈呈することとし、後任の専務理事については、田之上恵氏に委嘱したいと今本議長から説明があり、提案通り議決された。

新たに選任された理事は次の通り。

### 1. 新旧理事について

(氏名五十音順、敬称略)

〈新任〉 7名

井上 剛一 小田急電鉄(株)

生活サービス事業本部沿線事業部長

岩崎 悟志 西日本旅客鉄道(株)

執行役員創造本部副本部長

齋藤 俊也 南海電気鉄道(株)

鉄道営業本部運輸部営業課長



監査報告をする監事稲川一氏

田之上 恵

公益社団法人日本鉄道広告協会顧問

中村 年孝 西日本鉄道(株)

鉄道事業本部副本部長兼

営業企画部長

増田 拓也 東京地下鉄(株)

事業開発部課長

山中 淳郎 東京急行電鉄(株)

生活サービス事業本部事業推進部

統括部長

〈退任〉 7名

上山 英樹 梅原 昌弘

河田 健治 出口 正典

畑中 一浩 茂木 正大

山口 正人

退任専務理事 河田健治氏挨拶

5年間専務理事を務めました。大変有意義な時間で、皆さまのお陰で無事遂行できたかと思えます。皆さま方のご協力に対し大変感謝しております。ありがとうございます。

新任専務理事 田之上恵氏挨拶

河田専務理事の後任を承認いただきました。田之上です。河田専務理事同様是非ご支援賜れればと思っております。当協会の発展のために誠心誠意頑張りますので、ご支援のほど宜しくお願いいたします。

## 報告事項

### 平成25年度事業計画について

#### 基本方針

大震災後低迷が続いていた我が国の景気は、平成24年度には徐々に復調の兆しを見せ、最近ではようやく回復基調に入ったと言われている。広告業界においても、平成24年度の総広告費、鉄道広告費共に、久しぶりに前年実績を上回る事ができた。国際的には依然としてEU諸国の債務問題、中国における経済成長の鈍化、さらにはアメリカにおけるいわゆる財政削減問題等、大きな不安要素に直面している。

## 今木会長挨拶

会員の皆様方には当協会の運営、活動に関しまして日頃からご理解ご協力を賜り心から感謝申し上げます。また本日は大変お忙しい中をご出席いただきましてありがとうございます。おかげさまをもちまして当協会も発足以来8年目を迎え、活動は、委員会活動、支部活動についてもより充実したものになってきていると思えます。その概要につきましては後ほどご説明申し上げますが、私はこの協会の活動の中身或いはその目的は3つの柱があると考えております。

1つ目は鉄道広告の持つ公益性、文化性に一層の磨きをかけて充実を図ること、2つ目は世の中の激しい変化、特に関連する技術分野の著しい発展にいかに対応し、鉄道広告の価値を更に高めていくかということ、3つ目はそれらの結果として、広く国民生活の向上に貢献し、加えて会員各社の発展と鉄道広告の社会的ステータスを向上させることにあると思っております。



今木会長挨拶

今年度もそういった主旨に則って色々な活動をしてまいります。特に昨今、急速に普及しておりますICT、とりわけスマートフォン、タブレットといったモバイル端末等の爆発的な普及、機能の高度化に、鉄道広告がいかに対応していくかということも今年度の重点課題として取り上げていけたらと考えております。昨年度より引き続き今年度もどうぞよろしくご支援ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。冒頭の挨拶とさせていただきます。

一方我が国においては、昨年末の総選挙において誕生した新政権のもと、内政、外交、経済、社会のあらゆる面において、「日本再生」を目指した取り組みが急ピッチで行われており、一日も早くその成果の出ることが期待される。

そのような中、当協会としては、鉄道広告の持つ公益性に一層の配慮をするとともに、昨今の我が国における社会的、技術的变化に迅速かつ的確に対応し、鉄道広告の付加価値をより高め、社会的ステータスの一層の向上を目指し、限られた予算の中ではあるが、会員各社の御理解と御協力を得て、最大限の取り組みをしていきたい。特に、ICTの急速な進展、とりわけスマートフォンやタブレットといったWeb端末の目覚ましい普及や機能の高度化にいかに対応するかは、喫緊の重要課題として取り上げていきたい。

具体的な事業計画(案)については、下記のとおりであり、その中でも第7回地球温暖化防止キャンペーンの実施、第4回マナーキャンペーンの実施、ICT化への対応の研究、e-販促データシステムの改修及び稼働(JAFRAシステム)、アカウンタビリティ向上委員会の活動などを25年度の主要課題として取組むこととする。

## 1. 各委員会の主な活動目標

### 総務財務委員会

- ・新規会員への入会促進
- ・支部活動活性化支援
- ・年次報告書の作成
- ・他広告団体との交流

総務・財務委員会  
清水英明委員長

総務・財務委員会の仕事は4つあり、新規会員の入会促進、支部活動活性化を支援する、年次報告書の作成、他の広告団体との交流です。新規会員の入会促進については、当協会の会員は基本的には各鉄道会社の指定された、いわゆる指定業者によって成り立っています。それを一挙に拡大ということは非常に難しいことです。しかしながら我々の業界の周辺には多くの会社に関連した様々な仕事があります。ですので広告業ではないけれど、賛助会員を増やすということに着目したいと考えております。いろいろな問題も考えられ、検討の余地もありますが、総務・財務委員会の中に会員増強小委員会を作り、50社くらいを目標に進めたいと思います。

## 倫理委員会

- ・倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握
- ・鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適用に関する教育研修の実施
- ・マナーキャンペーン継続実施
- ・広告倫理に関する事例研究会の実施
- ・日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換

### 倫理委員会

#### 神田橋治委員長

当委員会は今年度も昨年度に引き続き、同様に活動を行なっております。5点ありますが、先ず第1点が倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握を行ないたいと思います。2番目が鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適応に関する教育研修の実施です。昨年度も実務者研修を人材育成委員会と連携して行いましたので、今年度も引き続き連携してまいります。3番目に国交省と共同で行います、4回目になるマナーキャンペーンを全国規模で継続実施してまいります。4番目は広告倫理に関する事例研究会の実施、最後に今年度も日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換を

行なって広告業界全体の倫理に取組んでまいりたいと思います。

## 美観風致委員会

- ・環境委員会と共同による第7回地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・美観事例の収集と紹介
- ・美観風致に関する教育研修

### 美観風致委員会

#### 滝久雄委員長

今年で7回目となります地球温暖化防止キャンペーンは日本を代表する作家のみなさんにポスターを提供していただき、宝くじ協会から補助金をいただきております。一般的に宝くじ協会がポスター制作等に補助金を出すということはなかなか事例のないことだそうですが、キャンペーンの公共性、イメージに評価をいただきまして、50%を超える当協会の公共事業比にさやかなりともお役に立っているのではないかと思っております。今年も行いますので是非ご協力お願いいたします。協会発足初期に発行しましたが、駅の広告の事例紹介ですが、制作費などのこともあり、少し時間をい

ただきました。各委員会でデジタルサイネージのことについて色々な研究がされておりまして、今年是我々の委員会でも事例の紹介をするチャンスだと現在研究しているところです。

## 環境委員会

- ・「JAFRA環境方針」配布後の環境保全への取り組み状況の実態把握
- ・環境に関する手引書の検討
- ・第7回地球温暖化防止キャンペーンの実施

### 環境委員会

#### 富田栄治委員長

前年度の事業計画には「JAFRA環境方針」の配布の項目があり、神田橋前環境委員長のもと作成いただきましたこの環境方針を昨年10月に会員各社へ配布いたしました。ところでこの環境方針を見たところ、見たような気がするという方はこの中で何人くらいいらっしゃるのか。効果の測定調査のようですが、実は私自身も委員長に就任して改めて内容を拝見しました。基本理念があり、行動指針として5つの項目が記載さ

れています。会員の皆さまには是非この環境方針を目に付きやすい場所へ掲出いただき、社内の皆さまに啓蒙してくださいます。私の会社では社内の照明器具を全てLED照明に変更しました。おそらく従来の蛍光灯でしたら既に何本か切れて取り替えているはずですが、この1年ほど取り替えもせず光熱費も削減することができました。小さいことかもしれませんが環境保全のため少しはお役に立っているのかなと自負している次第です。会員の皆様のお手を煩わせることとなりますが、環境保全の取り組みの実態調査をさせて



賛成票を上げる会員の皆さま

いただきたいと考えております。その結果を皆さまにフィードバックして、その後の取組みが更に広がっていくような一助になればと考えております。また、今木会長が相談役をされているアトレでは、環境に関しまして各項目具体的な内容が記載されている手引書を各テナントの方々に配布し、定期的に実践できているかどうかを各自項目ごとにチェックする場を設けていると聞いております。それを参考にしながら、我々もJAFRA独自の手引書を作成し皆様方にお配りしたいと考えております。毎年実施しています地球温暖化防止キャンペーンも、美観風致委員会との共同で実施協力させていただきたいと考えております。以上3項目を今年度の事業の柱と考えています。

**安全委員会**

- ・安全管理に関する調査研究の推進
- ・安全管理体制及び「絵で見る安全作業マニュアル」に対する評価・活用アンケート実施
- ・安全作業に関する教育研修の実施
- ・作業手順マニュアル及びチェック集の素案作成

**安全委員会  
佐々亭委員長**

委員会には9社の会員社の方にご参画いただき、広告に関わる作業の安全性の向上に関わる活動をしています。昨年度の成果といたしまして、「絵で見る安全作業マニュアル」を改訂して4月に会員各社に配布いたしました。委員会側から安全性をお伝えしたのですが、その作業の安全ということが、果たして作業をする方々に伝わっているのかどうかというところも含め、今年度はこの作業マニュアル及び、安全管理体制に関してのアンケート或いは評価を集め、よりよいものとしていきたいと思っております。その他、安全管理に関する調査研究の推進、教育研修の実施は例年通り行いたいと考えております。

**標準化委員会**

- ・2013年度版「全国鉄道広告料金表」の協会ホームページへの収録、公開
- ・デジタルサイネージに関する標準化の検討
- ・携帯電話マナー表記に関する再検討

**標準化委員会  
正盛和彦委員長**

前年度に引き続き、3点を活動目標にしております。2013年度版のJAFRA全国広告料金表の収録公開、デジタルサイネージに関する標準化の検討、携帯電話マナー表記に関する再検討です。先ほど来、話が出ております携帯電話のマナー表記に関しましては、時間をかけて今の形に検討した訳ですが、この数年間で急激なスマートフォン普及により、それに伴う形に見直しを図ろうということで、マナー表記に関しましては今年度中に改訂を公表できればと思っております。

**人材育成委員会**

- ・「交通広告ビジネス概論」一部差替え部分の配布
  - ・鉄道広告実務者研修の実施
  - ・セミナー、シンポジウムの開催
- 人材育成委員会  
小野寺忠之委員長
- 交通広告ビジネス概論の一部差替えということで、2011

年にビジネス概論を配布し、昨年は広告業界の動向という別冊を配布いたしました。今年も実務研修者の教科書になっておりますが、広告業界は非常に動きが早く、それに間に合うよう、また別冊を作成、配布したいと考えております。それからセミナーの開催ということで、昨年は首都圏支部ではセミナーを3回、各支部でもセミナー、シンポジウムを開催予定であります。審査の事項につきましては是非倫理委員会と共同で活動していきたいと考えております。

**技術開発委員会**

- ・スマートフォン・タブレット端末の普及と機能高度化に対応した鉄道広告の取組
  - ・デジタルサイネージに関する情報の共有化とネットワーク化の促進
  - ・新技術を活用した鉄道広告の取組
  - ・その他鉄道広告に応用可能な先端技術情報の収集と共有化
- 技術開発委員会  
坂田英洋委員長
- 今年も4つのテーマを掲げて

おります。スマートフォン、タブレットなどの端末、ソフトもずいぶん高度化されており、その中で鉄道広告がどう取り組むのかという大きな課題ですが、国内でも色々な試行をされていますし、更に海外の事例を集めながら、取組んでまいります。デジタルサイネージ関連は、技術的に出尽くした感もありますので、これからの課題は、デジタルサイネージ時代における交通媒体価値をどのように向上させるのかということになりますので、その向上につながるような応用技術や新しい技術の情報を海外を含め収集して共有化を図りたいと考えております。

### 調査研究委員会

- ・ 効率的なメディアプランニングに関する研究の促進
- ・ e 販促データシステムの改修・稼働開始
- ・ 広告料金、利用者数、輸送人員等のマーケティングデータほか提供
- ・ 媒体活用事例の調査と紹介
- ・ マーケティング講演会の開催

調査研究委員会  
栗原圭一委員長

4つの項目がありますが、特に来年の3月に向けてe・販促データシステムの改修が最重要課題と思っております。今度のシステムに関しては、当協会会員であればe・販促データシステムを導入されていない会員社の方も、内容の一部が見られるということですので、会員各社の営業のお役に立てるようになるかと思えます。e・販促データ会員になりますと更に有益なデータが見られますので皆さん是非お入り下さい。

### 業務近代化委員会

- ・ 業務近代化に関する課題の提言
- ・ デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討

業務近代化委員会

柳館毅委員長代理

河田健治専務理事

アカウンタビリティ整備が業務近代化の課題ということで引き続き検討しております。これにつきましては、アカウンタビ

リティ向上委員会に特化して協力してまいります。2つ目のデジタルサイネージ導入による近代化目標につきましては、できれば標準化を目指して検討も加えていこうということ活動していきたいと思います。

### PR委員会

- ・ 「JAFRANEWS」の編集・発行の継続と、掲載内容の充実
- ・ ホームページを活用した、情報発信の強化
- ・ 鉄道広告枠を活用した、各種啓蒙キャンペーンの実施に伴う特設サイトの開設
- ・ 関係する外部機関との連携強化

PR委員会

阿久津光志委員長代理

河田 健治専務理事

4つあります。現在JAFRANEWSは隔月で発行しておりますが、今年度も同様に継続発行いたします。掲載内容も充実するようにつとめることと、ホームページを活用して情報発信の強化、これによってアクセス数の向上を図ります。鉄道広告枠を活用した各種啓蒙キャン

ペーンの特設サイトを毎回開設しています。これに力を入れること、関係する外部機関との連携を強化するという4つを柱として今年も活動してまいります。

### アカウンタビリティ向上委員会

- ・ 標準化委員会、調査研究委員会、業務近代化委員会と連携してアカウンタビリティ拡充・データ整備
- ・ 関東交通広告協議会、日本広告業協会と連携して調査実施、データ整備

アカウンタビリティ向上委員会  
正盛和彦委員長

この委員会ができてちょうど2年目に入ります。関東交通広告協議会と日本広告業協会、JAFRAの3団体で協力し、交通広告共通指標推進プロジェクトという、データ整備のためのプロジェクトをこの6月に立ち上げました。概略につきまして、は定期総会の後のセミナーで、研究会の座長を務めていただいた電通の中野氏から説明がありますので、是非お聞きいただければと思います。1番の課題は、調査を進めるのはいいけれど費

用はどうするんだということでしたが、事前のプレ調査を実施し、その結果をもとに関東交通広告協議会で調査費は全面的にご協力いただけるという結論をいただき、本年度はいよいよ本調査に入る準備が整いました。まず第1弾で、この1年は調査を推進していくのが我々の1番の業務になります。ご協力をよろしく願います。

## 2. 各支部の主な活動目標

### 北海道支部

- ・支部幹事会の開催(4月)
- ・支部総会の開催(4月)
- ・媒体会議の開催(年4回)
- ・研修会の開催(25年秋季)
- ・新規会員の入会懇話
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・マナーキャンペーンの実施

### 北海道支部

石見支部長代理

木戸口氏

今年度の活動状況はこちらにあるとおりですが、現在の北海道の状況について報告します。

鉄道広告の販売状況については、普通広告は対前年92%、一方サインボードを含む特殊広告は前年並みに推移していることもあり、合計で97%という状況です。日本全体では景気回復の感はありませんが北海道ではまだ実感されない状況かと思われ、今後の推移に期待しています。新しい媒体として昨年7月に札幌駅と地下鉄札幌駅、札幌駅前地下歩行空間を結ぶ南北約60mの空間の柱16本を使い縦型60インチのデジタルサイネージ64面を稼働しています。このサイネージはJR6社のネットワーク配信も可能で、特にJAFRA会員の皆さまのご支援ご協力のお陰でこれまで概ね計画通り推移しております。

北海道支部では定例会議の他、昨年の11月に東京スカイツリー、リニールを終えた東京駅媒体視察研修を行いました。北海道におきましてもデジタルサイネージ化が進んでおり、非常に参考になる点が多く大変有意義な研修となりました。

最後に3年後に開通を予定しております北海道新幹線、新函館駅の開業に対するアクセス輸送の電化工事の起工式、軌道敷設のためのレール発信式、更に

は札幌延伸についての建設工事の起工式も終え、北海道全体ではこの新幹線については盛り上がっているように思います。このような状況の中、新幹線の車両、新駅の媒体等についても関係機関との打ち合わせを進めていきたいと思えます。今年度も例年通り媒体環境を通じて広範囲に向けた情報交換をするなど地球温暖化防止キャンペーンなど本部と連携をとって推進していきます。

### 東北支部

- ・支部総会の開催
  - ・支部セミナーの開催
  - ・新規会員の入会懇話
  - ・地球温暖化防止キャンペーンの実施
  - ・マナーキャンペーンの実施
  - ・関東地区媒体事例研修会の実施及び導入の検討
  - ・東日本大震災3年目を迎えて復興支援活動の継続
- 東北支部は、『3・11』を忘れない。今後、再び起き得る『巨大地震と津波』に備える『防災の日』と捉えて、小さな一つ一つの復興支援活動を継続していく。

東北支部  
佐藤俊一郎支部長

今年も年次報告書にレポートをいたしましたのでご覧いただければと思います。今年のメニューもあまり目新しいものはありませんので、とりあえず近況を報告いたします。一昨年の総会でこちらに参りましたとき、仙台市内の多くのビルはまだ外壁の補修工事中で足場を組み、道路は歩道を確保するために大変狭くなっている状況でした。2年経ちまして仙台市内はどこが被災したのかと思われるほど復旧が進んでおりますが、一旦海岸の方に出ますと、瓦礫を全て撤去したというだけで、ほとんどまっ平らで草が生えているという状況です。ニュースでご覧になったかと思いますが、ゴールデンウィークに南三陸町の復興市に10万人が押しかけたというのは本場で、各地の復興市、復興商店街は非常に話題になっていますが、いずれも高台にあるところで、本当の低いところにある施設については全く手が付いていない状況がまだ続いています。とはいえ、鉄道の施設は順調に復旧しております。気仙沼線は既にBRTが本格運行

始めております。着々と元に戻りつつありますが、それぞれの自治体の体力の差がここに来て目立っているということ、正直に申し上げて、復興マネーが回っている業界と回らない業界で非常に差が出ているというところで、エリア的にも業界的にも非常に斑模様がますますひどくなっているというのが実情です。我々の業界もほとんど2年前の業務の継続性すらどうなるのだろうかと思うような状況でしたが、会員各社と太平洋側に本社、支社を置いている会社も以前と同じではありませんが、稼動しておりしますので、これからも引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

### 首都圏支部

- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・鉄道広告実務研修の実施(8月下旬～9月上旬)
- ・セミナーの開催(7月・10月・2月の3回)
- ・支部総会の開催(7月22日 ホテルメトロポリタン)
- ・地域間交流の促進
- ・新規会員の入会促進

・マナーキャンペーンの実施

### 首都圏支部

小暮和之支部長

支部活動は7項目あり、他の支部とほぼ同様です。特に教育、研修に力を入れていきたいということですが3回しっかり行ないたいと思いますし、鉄道広告実務者研修ということでもいわゆる交通広告の経験の浅い人を対象に従前行なってまいりましたが、少し経験のある人たち向けにも意味のある研修を広げていきたいと考えておりますし、直接参加できない方にもビデオなどご覧いただければ、研修効果が出るという研修を今年度も目指してやっていきたいと思っております。

### 中部支部

- ・支部総会の開催
- ・支部セミナーの開催
- ・研修の実施
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施(8月)
- ・マナーキャンペーンの実施

中部支部

阿久津光志支部長代理

河田専務理事

今年も以上5つのテーマで行ってまいります。よろしくお願いたします。

### 近畿・中国・北陸支部

- ・幹事会の開催「7月8日(月)・3月上旬予定」
- ・支部定期総会・懇親会の開催「7月8日(月)」
- ・支部セミナーの開催「7月8日(月)」
- ・交通広告実務研修会「9月上旬予定」
- ・地球温暖化防止全国キャンペーン実施
- ・マナーキャンペーン実施に向けての推進
- ・業界諸団体との連携強化(各媒体社広告会・OAAA・関西交通広告協議会等)
- ・新規会員の入会促進(正会員、賛助会員)

近畿・中国・北陸支部

坂田英洋支部長

行事などは書かれている通り

です。4月に大阪駅北側にグラントフロント大阪という、昔の梅田北、梅田貨物駅の跡地ですが、その先行開発区域がオープンして現在非常に賑わっています。6月に入ってから近鉄阿倍野の駅ビル、日本一高いビルの一部が第1期開業いたしました、ここも大変賑わっております。7月に開催します支部セミナーでは、かなりのOHHが活用されているそのグラントフロント大阪のデベロッパーの方においていただき、講演をしていただく予定になっております。

### 四国支部

- ・支部総会の開催(6月)
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施(8月)
- ・視察研修会の開催(9月)
- ・支部会員交流会の開催(12月)
- ・マナーキャンペーンの実施
- ・新規会員の入会促進

四国支部

吉良次雄支部長

昨年より支部長をしておりませんが、このところ広告の出稿が減少傾向にあり、色々模索し



「交通広告共通指標推進プロジェクト」のセミナーを行なう電通 中野雅之氏

ているところでは、現在最も力を入れていることは、以前鉄道広告業界にいた方の多くが代替わりをされており、今でも営業をしているのか不明な会社も含まれているので、代理店の方に再度、こういう協会がありますと説明をするところから始めています。意外と皆さん忘れていらっしゃることもあり、我々のことを思い出していただいたりしています。こういうことをしてこなかったことが、出稿の減少のひとつの要因なのではと猛省しております。今年中に可能などころは全て回り、関係諸団体にも説明に行く予定であります。このようなことで、広告の増加につながり、代理店の皆さまにプラスになるようにと行動してまいります。



来賓の国土交通省鉄道局参事官 松本勝利様

九州支部  
 支部総会の開催(12月)  
 支部セミナーの開催(12月)  
 支部運営会議の開催(4月、11月、平成26年3月)  
 西鉄交通広告会、福岡市地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会との連携  
 地球温暖化防止キャンペーンの取り組み  
 マナーキャンペーンの実施  
 JAFRA NEWSへの掲載及び本部各委員会との連携強化  
 九州支部  
 水野正幸支部長代理  
 河田専務理事  
 支部総会は12月にセミナーと併せて開催いたします。今年も

- ・九州支部
- ・支部総会の開催(12月)
- ・支部セミナーの開催(12月)
- ・支部運営会議の開催(4月、11月、平成26年3月)
- ・西鉄交通広告会、福岡市地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会との連携
- ・地球温暖化防止キャンペーンの取り組み
- ・マナーキャンペーンの実施
- ・JAFRA NEWSへの掲載及び本部各委員会との連携強化



東日本旅客鉄道(株)常務取締役 事業創造本部長 森本雄司様

3. 今後の協会行事計画  
 第2回理事会 11月(予定)  
 第3回理事会 26年3月(予定)  
 他、第7回地球温暖化防止キャンペーン展開計画についての報告があり16時10分、平成25年度定期総会は滞りなく終了した。  
 以上

7項目ありますが、特に西鉄交通広告会、福岡市地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会の3協会との連携を図りたいと考えております。JAFRA NEWSへの記事の掲載も随時行ないたいと考えております。

編集後記

先日テレビで日本人は「涼」のとり方に長けていると放映していました。風鈴、縁台、金魚やすだれも涼を感じるアイテムだそうです。涼を求めて、水辺に立ち寄ったところ先客がありました。水泳(?)直後の鴨の団体さまでした。風の吹き抜ける中、安全“者”間距離を保ち、しばらく一緒に過ごさせていただきました。

そんな夏の定番ともなりました、地球温暖化防止キャンペーンが8月2日から始まります。「エキからエコ。」今年はどうな夏休みの風景が見られるのか楽しみです。



●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。 [information@j-jafra.jp](mailto:information@j-jafra.jp)

●会員社の代表者が変更になった場合など、変更届はホームページ(<http://j-jafra.jp>)の「各種届出書類」に用意してございますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力お願いします。

●次号Vol.20は10月1日発行予定です。お楽しみに。

# 第7回地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーンを開催！

エキからエコ。―地球温暖化を、一枚の環境アートから考える。

今年も当協会では2013年8月2日(金)～8月31日(土)の期間、全国のJR、私鉄、地下鉄35社の協力を得て、各鉄道の駅及び車両内のポスター枠を使った今回で7回目になる地球温暖化防止キャンペーンを実施いたします。

開始当初、このキャンペーンは、空き枠対策としてゴールデンウィークに行なっていました。が、盛夏に行うことで、夏休みの移動手段として、省エネ交通機関である鉄道を多くの方にご利用いただく際、ポスターを眼に留め、家族の中でも地球温暖化防止や、環境問題について話し合ったり考えたりする時間をもってもらえたらとも思っております。

今回もJR、私鉄、地下鉄を含む35社の鉄道メディアを全国の拠点エリアで集中的に活用して延べ50万枚のポスターを掲出いたします。

昨年は、首都圏のターミナルを中心に展開した駅デジタルサイネージを、今年から首都圏・近畿圏に加え札幌、高松他全国で行ないます。

ポスターのビジュアルは、このキャンペーンに賛同してくださった4名

の現代を代表する著名芸術家及びクリエイターの方が、今年もボランティアで作品を提供してくださいました。4名の方からのメッセージは、ホームページの期間限定の特設ページからご覧になることができます。そのホームページは、今年も昨年までの作品を閲覧できるアーカイブス、全国の鉄道に関係する博物館やアクティビティを紹介していますので、夏休みの自由研究をお考えの方もぜひアクセス下さい。

### 1. 実施期間

2013年8月2日(金)～8月31日(土)

### 2. ポスター種類

車内ポスター B3×4種類

駅ポスター B1×5、B0×4種類

駅デジタルサイネージポスター

### 3. 制作協力

ビジュアル提供…

宮田亮平氏

金工家／東京藝術大学学長

「生と静」

大津英敏氏

洋画家／多摩美術大学教授

「燦」

手塚雄二氏

日本画家／東京藝術大学教授

「朱景色」

日比野克彦氏

アーティスト／東京藝術大学教授

「HAPPINESS」

アートディレクター…蝦名龍郎氏

コピーライター…マキプロ

4. 主催 公益社団法人日本鉄道広告協会

5. 協賛 財団法人日本宝くじ協会

6. 後援 環境省、国土交通省



手塚雄二作「朱景色」(部分)

大津英敏作「生と静」



日比野克彦作「HAPPINESS」

宮田亮平作「生と静」

7. 協力 小田急電鉄(株)、九州旅客鉄道(株)、京都市交通局、近畿日本鉄道(株)、京王電鉄(株)、京成電鉄(株)、京阪電気鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、神戸市交通局、埼玉高速鉄道(株)、相模鉄道(株)、札幌市交通局、山陽電気鉄道(株)、四国旅客鉄道(株)、首都圏新都市鉄道(株)、西武鉄道(株)、東海旅客鉄道(株)、東京急行電鉄(株)、東京地下鉄(株)、東京都交通局、東京モノレール(株)、東京臨海高速鉄道(株)、東武鉄道(株)、東葉高速鉄道(株)、名古屋市交通局、名古屋鉄道(株)、南海電気鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)、北海道旅客鉄道(株)、横浜高速鉄道(株)、横浜新都市交通(株)

(35社、五十音順)